

志布志市との合併を推進する決議

本町における合併論議については、志布志町・有明町・大崎町の3町による法定合併協議会の設置、さらに、松山町を交えた曾於南部合併協議会の設置と合併に向け協議を重ねてきたが、平成16年5月、大崎町の合併についての意思を問う住民投票が行われ、曾於南部地区での合併4,597票、単独4,616票と単独が19票上回り、平成16年6月14日の本会議において、曾於南部合併協議会から離脱するための「曾於南部合併協議会規約の一部を変更する規約について」を可決し、単独の道を歩むことになった。

このような中、町長は、社会情勢の変化に伴い、町民の合併問題に対する意識に変化が生じてきているとして、平成18年11月に「大崎町の市町村合併に関する住民アンケート」調査を実施した。このアンケート調査は、本町に住民票を有する者で18歳以上の男女が対象であり、集計によると、アンケート対象者数13,417人の内、有効回答者数9,864人、無効数221人、未回収3,332人であった。合併に関して、「あなたの今現在の考えにあてはまるものは？」の問いに、有効回答者9,864人中、志布志市との合併を希望する回答者数が5,129人と全体の52%を占め、鹿屋市1,789人(18%)・東串良町821人(8%)・合併するべきでない795人(8%)・その他の枠122人(1%)・わからない1,208人(12%)という集計結果となった。また、いずれかの市・町と合併を希望すると回答した者の内、志布志市は、65.2%となっている。このことは、今大崎町民が合併について何を望んでいるかを、顕著に表していると言える。

このことから、本町議会は、一度は単独という道を選択した本町ではあるが、住民投票の結果にこだわることなく、このアンケート調査の集計結果による民意と、志布志市との合併協議を進めたいという町長の意見を尊重し、本町の歩むべき道として、志布志市との合併協議を要望するとともに、志布志市との合併を推進していくことをここに決議するものである。

平成18年12月22日

大 崎 町 議 会